

2017年8月吉日

会員各位

第32回日本ゴマ科学会大会開催のご案内

拝啓 新緑の候、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。この度、つくば市において第32回日本ゴマ科学会大会を下記のように開催することとなりました。会員の皆様におかれましては、ゴマに関する最新の成果、研究動向を知る機会として、また、研究交流を深める機会として多くの会員の皆様にご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

敬具

1. 大会日程

2017年10月14日(土)

11:00~12:00	評議員会
12:10~12:50	総会
13:00~13:10	大会挨拶
13:10~15:00	特別講演
15:00~15:30	ポスターセッション(休憩含む)
15:30~17:30	一般講演
18:00~20:00	懇親会

2. 大会会場

つくば国際会議場

評議員会 小会議室 303

総会・講演会 大会議室 102

〒305-0032 茨城県つくば市竹園2丁目20番3号

TEL:029-861-0001 FAX:029-861-1209

会場ホームページ <http://www.epochal.or.jp/>

3. 懇親会会場

つくば国際会議場内 レストラン エスポワール

〒305-0032 茨城県つくば市竹園2丁目20番3号

TEL 029-850-3266 FAX 029-850-3287

会場ホームページ http://www.epochal.or.jp/floor_guide/food/index.html

4. 参加費 会員 無料

5. 懇親会会費 5,000 円（学生 1,000 円）（当日、受付にて申し受けます）

6. 会場周辺情報 https://www.epochal.or.jp/access/map_shuhen.html

7. 参加申し込み

①参加の方は同封のはがきに、大会（出席・欠席）・懇親会（出席・欠席）を必ずご記入ください。

②評議員の方は評議委員会の出席・欠席を必ずご記入ください。

③申込みは、2017 年 8 月 31 日（木）までに上記の「事務局 大潟」にご返送ください。
なお、変更等は下記の大会実行委員会事務局へ直接ご連絡ください。

8. 会場までの交通

地図を参照ください。

つくばエクスプレス（TX）「つくば」駅下車 A3 出口徒歩 15 分

9. 当日の昼食

「つくば」駅および会場周辺に飲食店がございます。

10. 大会実行委員会

国立研究開発法人 農業・食品産業総合技術研究機構 次世代作物開発研究センター
〒305-8518 茨城県つくば市観音台 2-1-2 TEL 029-838-8393 FAX 029-838-8475
実行委員長：加藤晶子 E-mail: shunn@affrc.go.jp
事務局：大潟直樹 E-mail: naokio@affrc.go.jp

第 32 回日本ゴマ科学会大会

講演会プログラム

13:00 開会の挨拶 大会実行委員長 加藤晶子

13:05 会長の挨拶 日本ゴマ科学会 会長 吉田元信

特別講演

13:10 「北海道の地域特産作物」

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
北海道農業研究センター 所長 勝田眞澄先生

14:05 「ゴマ粕におけるセサミノール配糖体からのセサミノール生産」

南九州大学 環境園芸学部 環境園芸学科
教授 山口雅篤先生

15:00~15:30 ポスターセッション (演題 別紙)

一般講演

15:30 西アフリカ・ブルキナファソ国におけるゴマ栽培の現状と収量増加法の探索

○道山弘康 (名城大学・農学部)

15:45 Seed yield and fatty acid composition of sesame (*Sesamum indicum* L.) seeds as influenced by continuous cropping on fallow paddy fields

○Cosmas Wacal¹*D1・Daniel Basalirwa² M2・Daisuke Sasagawa¹ D1・Robert Acidri² M2・Naoki Ogata³・Eiji Nishihara⁴

(¹The United Graduate School of Agric. Sci., Tottori Univ., ²Graduate School of Agric., Tottori Univ., ³NARO Inst. of Crop Sci., ⁴Faculty of Agriculture, Tottori Univ.)

16:00 三重県におけるゴマ作付推進ー機械化への挑戦ー

○田畑茂樹 (三重県農業研究所・農産研究課)

16：15 施肥条件がゴマの収量と品質に及ぼす影響 —長期連用圃場土壌の栽培比較試験—

○田代亨¹・米田美奈子¹・志村真樹子²・望月正²・吉田重方³

(¹千葉大学園芸学部, ²JFE テクノリサーチ株式会社, ³名古屋大学・農学部)

16：30 セサミノールグルコシル化酵素群から見たゴマリグナン特化代謝

○小埜 栄一郎¹、和氣駿之²、白石慧³、村田純³、堀川学³、中山亨²

(¹サントリーグローバルイノベーションセンター(株)、²東北大・院工、³サントリー生命科学財団)

16：45 セサモールと相互作用を示す S2 細胞由来タンパク質

玉巻沙季子・工藤絵美・○勝崎裕隆(三重大学大学院・生物資源)

17：00 食用ゴマの劣化臭分析

○山崎有希子¹・片桐実菜²・松本理美¹・深見栄三¹・内海研二¹

(¹カタギ食品(株), ²和工技セ)

17：15 ゴマ栽培を取り入れた小学校食育教材の検討

○富永万智・武田珠美(熊本大学大学院・教育学研究科)

ポスターセッション 演題

ゴマに含まれる Ca の存在形態の解明

○塩田萌慧¹・田代亨²・勝崎裕隆³・三島隆⁴

(¹三重大学・生物資源, ²千葉大学, ³三重大学大学院・生物資源, ⁴三重大学大学院・地域イノベーション)

ゴマのセサミノール生合成遺伝子の探索

○大畑惇・若杉達也・山本将之(富山大大学院・理工)

ゴマ継続摂取による潜在的抗酸化能および食生活改善意識の向上について

○長島万弓(中部大学・応用生物学部)

ゴマ「まるひめ」とナタネ「ななはるか」の九州におけるプレミアムオイル生産

○大瀧直樹¹・加藤晶子¹・川崎光代¹・手塚隆久¹・沖智之¹・鈴木達郎¹・原貴洋¹・伊藤知子²・原菌秀雄³・西垂水武志⁴・村山博隆⁵

(¹農研機構, ²帝塚山大学・現代生活学部, ³金峰ごま生産組合, ⁴クリーンベースちらん(株), ⁵村山製油(株))

